

1. 問題の所在

作者 I2PHD による Argo build 142 など最新のバージョンには「FTP Upload」が含まれている。つまり、キャプチャした画像 (JPEG、BMP または GIF) を他のソフトウェアを用いることなく指定する FTP サーバに送信する機能があるので、便利である。

しかし、PC の環境と OS、あるいはインターネット通信条件によっては、アップロードが不能になったり Argo 自体が動作停止する場合がある。特に問題はないという報告もあるので、バグとなる条件を特定することが難しいのが実際である。

既に 7L1RLL から作者に改善を求めているが、作者が問題点を実感していないようで、built 137 から built 142 に至るも根本的に解決していない。

別途 Argo built 142 でキャプチャした画像を作者 ON7YD の ArgoUpload によるアップロードも試みているが、JQ2WDO では途中停止が生じ JA5FP では正常動作するという違いがある。

2. 対策の一方法

FTP サーバへのファイルのアップロードという作業は、FTP プロトコルに依っているの
で明瞭である。所定の時間間隔で FTP を働かせるだけの簡単な手続きである。

そこで、この作業を DOS のバッチファイルで指示する試みをしたところ、代替手段として使えるものとなったので、暫定的な措置として紹介することにする。

3. 単機能バッチファイルの例

メモ帳などのテキスト作成ソフトを用いて、次の 2 つのファイルを作成する。(注) 赤字の部分はローカル、青字の部分はリモートの () 内の適宜の文字で置き換えること。

UpIt.bat

```
cd c:\dte\argo142 (実行ディレクトリ)
ftp -s:ftpcmd.txt
ren captures\argo-ja5fp.jpg old-ja5fp.jpg (画像ファイル名)
```

ftpcmd.txt

```
open ftp.h4.dion.ne.jp (サーバのホスト名)
a483867411 (ユーザ名)
***** (パスワード)

binary
put captures\argo-ja5fp.jpg /htdocs/captures/argo-ja5fp.jpg(ディレクトリ構成)
bye
```

そして、実行ディレクトリに上記の 2 ファイルを置く。なお、Argo ではキャプチャされた画像は実行ディレクトリ内の captures\argo-ja5fp.jpg に保存されるように設定してあるものとする。

4. 起動

Argo は通常どおりに起動する。

手動で随時アップロードするには、UpIt.bat をコマンドラインまたは DOS コマンド窓か

ら起動する。この場合、実行ディレクトリに PATH が通っているとするとファイル名を指定するだけで良いが、フルパス名で起動しても構わない。これでアップロード済みの画像ファイルは、念のため実行ディレクトリ内の captures\old-ja5fp.jpg に保存してある。

継続して一定の時間間隔で自動的にアップロードするには、Windows の schtasks.exe を用いる。具体的には「スタート」>「設定」>「コントロールパネル」>「タスク」と進み、「スケジュールされたタスクの追加」で「タスクウィザード」を開始する。「実行プログラム」を UplIt.bat とし、「タスクの実行」は日単位 (D) をチェックする。PC のユーザ名とパスワードを入力しておく。そして、追加されたタスクの「プロパティ」>「スケジュール」>「詳細設定」で「タスクを繰り返し実行」にチェックして、「間隔 (V)」に任意の数値を入れれば良い。

この操作は、DOS コマンドラインから schtasks /create を用いても設定できる。(詳細説明は、schtasks /? コマンドで回答される。)

なお、Argo を停止して画像が保存されていない場合には、繰り返し動作している UplIt.bat は画像をアップロードしないだけであり、特段の支障はない。

5. schtasks.exe のダウンロード

繰り返しアップロードには、この手法では schtasks.exe の機能が不可欠である。しかし、Windows のバージョンによっては内蔵していない場合があるので、次の Web ページからダウンロードして利用する。

http://www.windowdev.com/bbs/board.php?bo_table=jpn_xp32&wr_id=3126&page=142

schtasks.exe は WINDOWS\SYSTEM32 フォルダに置くのが一般的である。

なお、Windows Server 2003 の schtasks は V2 であり、これは使用法が異なるようだ。

6. 複数ファイルをアップロードする参考例

Argo および WSPR のキャプチャ画像をまとめてアップロードし、それぞれの旧画像を保存するバッチファイルの一例を示す。ここでは、実行ディレクトリを c:\dte と仮定する。

MUpIt.bat

```
cd c:\dte
if not exist argo142\captures\argo-ja5fp.jpg goto chngdir
del argo142\captures\old-ja5fp.jpg
:chngdir
if not exist wspr\capture\wspr-ja5fp.jpg goto upload
del wspr\capture\old-ja5fp.jpg
:upload
ftp -s:mftpcmd.txt
if exist argo142\captures\argo-ja5fp.jpg ren argo142\captures\argo-ja5fp.jpg old-ja5fp.jpg
if exist wspr\capture\wspr-ja5fp.jpg ren wspr\capture\wspr-ja5fp.jpg old-ja5fp.jpg
rem pause
```

mftpcmd.txt

```
open ftp.h4.dion.ne.jp
a483867411
*****
```

```
binary
put argo142\captures\argo-ja5fp.jpg /htdocs/captures/argo-ja5fp.jpg
put wspr\capture\wspr-ja5fp.jpg /htdocs/captures/wspr-ja5fp.jpg
bye
```

preliminary version